

# 課題など 専門職員配置

浜田氏ら

横浜市モデル校視察  
発達障害  
発がい支援

公明党の浜田昌良参院議員は15日、横浜市の「神奈川県立横浜修悠館高校」（在籍数約5000人、時乗洋昭校長）を視察した。佐々木正行神奈川県議、加納重雄、源波正保、福島直子の各横浜市議、谷口和史同県本部副代表が参加した。



授業の様子を見学する浜田氏（左から3人目）ら＝15日 横浜市

同校は、通信制独立校として2008年に開校。09年度に文部科学省から、通信教育の特性を生かした発達障害がい支援のモデル校として指定され、現在、研究を進めている。一行は、来週実施される職場体験に向けて生徒が販売や接客の仕

事を学ぶ「キャリア活動Ⅰ」の授業を見学した後、特別支援教育の現状などについて教員らと意見交換した。席上、時乗校長らは「卒業後の就労につなげられる活動に力を入れている」と述べ、①中学校から高校へ子どもが進学する際の情報

共有②専門知識を有する職員の配置③現在の高等学校学習指導要領では特別な教育過程が編成できない——などが課題だと訴えた。

浜田氏は「伺った声を踏まえ、国・県・市でしっかり取り組んでいきたい」と述べた。